

損益状況<連結>

(単位:億円)

	2019年 3月期	前期比	2018年 3月期
経常収益	1,836	27	1,809
連結粗利益	1,367	109	1,258
資金利益	1,070	△2	1,073
役員取引等利益	233	△1	235
特定取引利益	10	0	10
その他業務利益	52	113	△61
営業経費	960	△26	987
不良債権処理額	62	48	14
株式等損益	7	△50	58
経常利益	353	35	317
親会社株主に帰属する当期純利益	243	31	211
自己資本比率	9.09%	△0.40%	9.49%

2019年3月期の連結業績につきましては、経常収益は前期比27億円増加の1,836億円となりました。

連結粗利益は、その他業務利益が増加したことにより、前期比109億円増加の1,367億円となりました。

経常利益は、国債等債券損益の増加により、前期比35億円増加の353億円となりました。

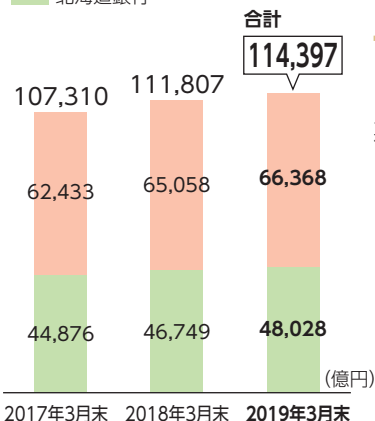
親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比31億円増加の243億円となりました。

連結自己資本比率は、9.09%となりました。

2019年3月期の配当につきましては、普通株式は期末一括で1株当たり44円、第1回第5種優先株式は中間・期末とも所定の1株当たり7円50銭(年間15円)とさせていただきます。

預金(含む譲渡性預金)<2行合算>

北陸銀行
北海道銀行

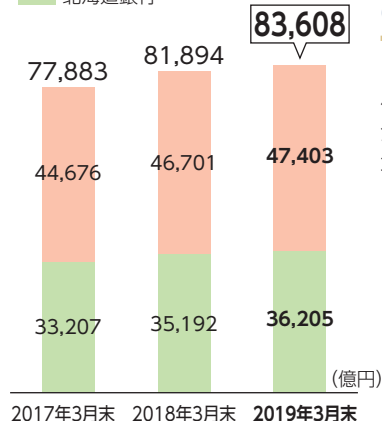


預金(含む譲渡性預金)
11兆4,397億円

個人預金、法人預金とも順調に増加し、前期末比2,589億円増加しました。

貸出金<2行合算>

北陸銀行
北海道銀行

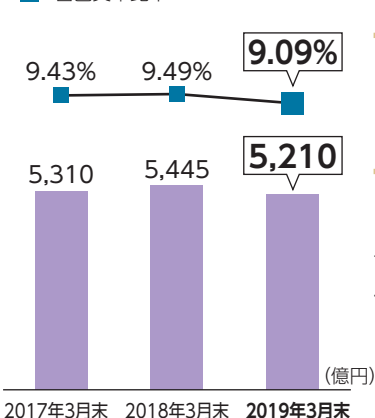


貸出金
8兆3,608億円

個人ローンを含む中小企業向け貸出、地方公共団体等向け貸出の増加により、前期末比1,714億円増加しました。

自己資本比率<連結>

自己資本
自己資本比率



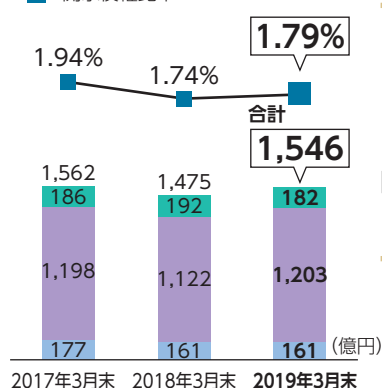
自己資本
5,210億円

自己資本比率
9.09%

劣後債の返済による自己資本の減少により、前期末比0.40ポイント低下しました。

金融再生法開示債権<2行合算>

要管理債権
危険債権
破産更生債権及びこれらに準ずる債権
開示債権比率



金融再生法開示債権
1,546億円

前期末比71億円増加しました。

開示債権比率
1.79%

前期末比0.05ポイント悪化しました。

損益状況

(単位:億円)

	2019年 3月期	前期比	2018年 3月期
経常収益	902	△9	911
コア業務粗利益	691	△20	712
資金利益	582	△29	611
役務取引等利益	99	8	91
特定取引利益	0	0	0
その他業務利益	9	0	9
経費	464	△10	475
コア業務純益	226	△10	237
業務純益	250	46	203
与信費用	28	9	18
株式等損益	4	△40	44
経常利益	221	△19	241
当期純利益	155	△1	157
自己資本比率	8.79%	△0.23%	9.02%
連結経常収益	903	△9	913
連結経常利益	221	△19	241
親会社株主に帰属する当期純利益	156	△1	157

コア業務粗利益は、貸出金利息、有価証券利息配当金の減少を役務取引等利益の増加で一部カバーし、前期比20億円減少の691億円となりました。

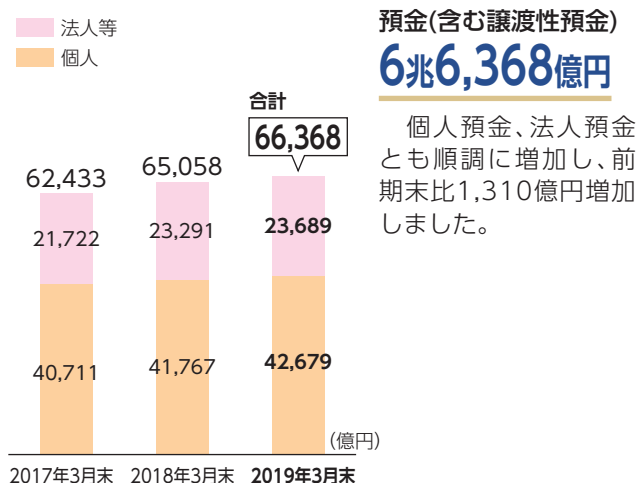
コア業務純益は、経費の減少によりコア業務粗利益の減少を一部カバーし、前期比10億円減少の226億円となりました。

経常利益は、国債等債券損益が増加したものの、与信費用の増加、株式等損益の減少などにより、前期比19億円減少の221億円となりました。

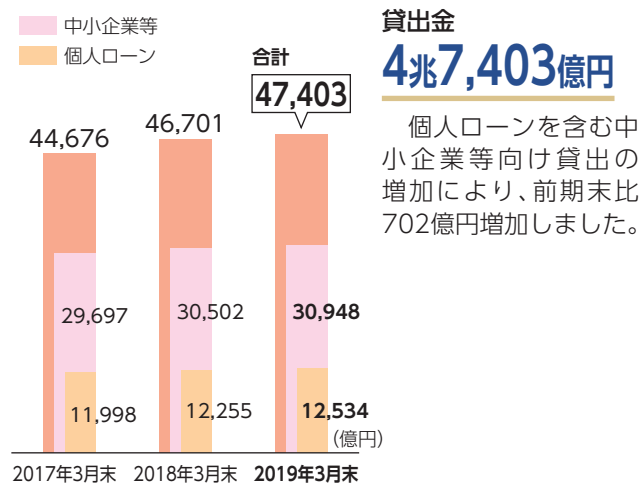
当期純利益は、経常利益の減少により前期比1億円減少の155億円となりました。

連結経常収益は前期比9億円減少の903億円、連結経常利益は前期比19億円減少の221億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比1億円減少の156億円となりました。

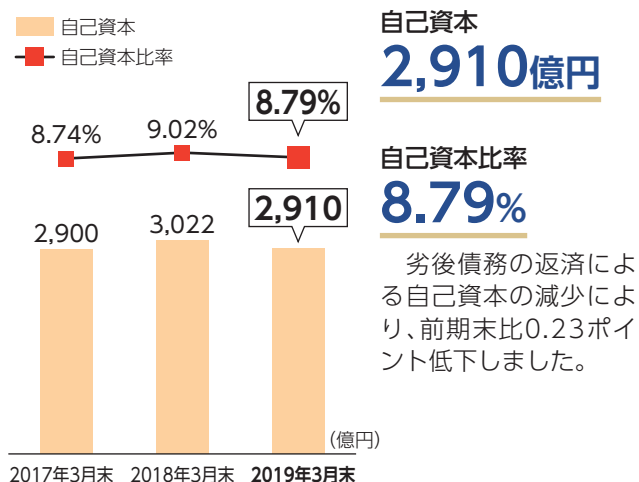
預金(含む譲渡性預金)



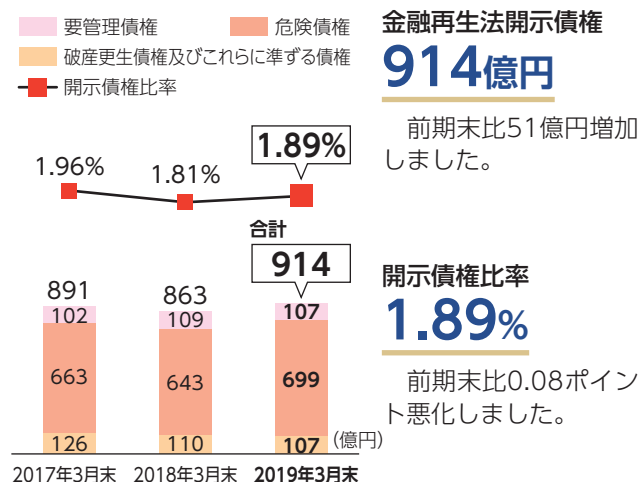
貸出金



自己資本比率



金融再生法開示債権



損益状況

(単位:億円)

	2019年 3月期	前期比	2018年 3月期
経常収益	755	△27	782
コア業務粗利益	565	△29	595
資金利益	499	△14	513
役務取引等利益	66	△9	76
その他業務利益	0	△5	5
経費	401	△11	413
コア業務純益	164	△17	182
業務純益	162	96	66
与信費用	17	30	△12
株式等損益	6	△16	23
経常利益	145	55	89
当期純利益	110	27	82
自己資本比率	8.69%	△0.59%	9.28%
連結経常収益	768	△26	795
連結経常利益	142	49	93
親会社株主に帰属する当期純利益	104	22	82

コア業務粗利益は、貸出金利息、役務取引等利益の減少により、前期比29億円減少の565億円となりました。

コア業務純益は、経費の減少によりコア業務粗利益の減少を一部カバーし、前期比17億円減少の164億円となりました。

経常利益は、国債等債券損益が大幅に増加したことから、与信費用が増加、株式等損益が減少したものの、前期比55億円増加の145億円となりました。

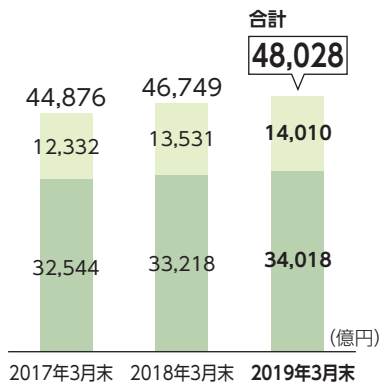
当期純利益は、経常利益の増加により前期比27億円増加の110億円となりました。

連結経常収益は前期比26億円減少の768億円、連結経常利益は前期比49億円増加の142億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比22億円増加の104億円となりました。

預金(含む譲渡性預金)

法人等
個人

預金(含む譲渡性預金)
4兆8,028億円

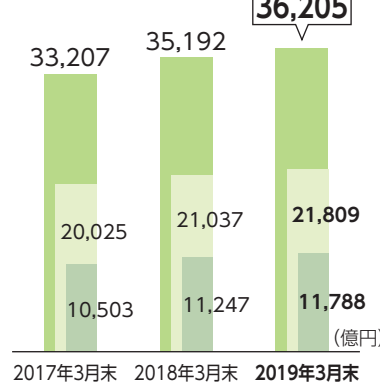


個人預金、法人預金とも順調に増加し、前期末比1,279億円増加しました。

貸出金

中小企業等
個人ローン

貸出金
3兆6,205億円

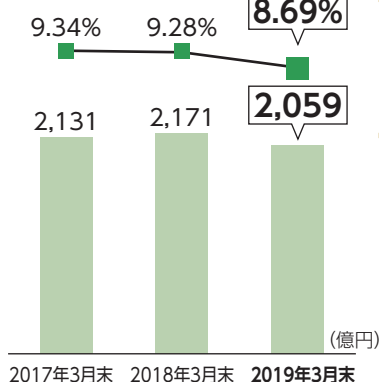


個人ローンを含む中小企業等向け貸出の増加により、前期末比1,012億円増加しました。

自己資本比率

自己資本
自己資本比率

自己資本
2,059億円



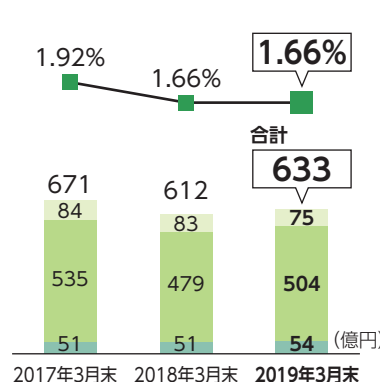
自己資本比率
8.69%

劣後債務の返済による自己資本の減少により、前期末比0.59ポイント低下しました。

金融再生法開示債権

要管理債権
危険債権
破産更生債権及びこれらに準ずる債権
開示債権比率

金融再生法開示債権
633億円



前期末比20億円増加しました。

開示債権比率
1.66%

前期末比同水準となりました。